

様式第10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
もとす地域	瑞穂市、本巢市、北方町	平成30年度～令和4年度	平成30年度～令和4年度

1 目標の達成状況
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成28年度)	目 標 (令和5年度) A	実 績 (令和5年度) B	実績/ 目標
総人口	107,064	107,045	107,805	
公共下水道	汚水衛生処理人口 23,841 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 22.3%	28,126 26.3%	24,428 22.7%	10.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 10,023 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 9.4%	10,804 10.1%	9,853 9.1%	-42.9%
コミュニティ・プラント	汚水衛生処理人口 1,934 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 1.8%	0 0.0%	2,120 2.0%	-11.1%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 33,852 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 31.6%	41,698 39.0%	38,945 36.1%	60.8%
未処理人口	汚水衛生未処理人口 37,414 34.9%	26,417 24.7%	32,459 30.1%	47.1%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

公共下水道については、処理場建設予定地の地元理解を得るのに時間を要し、建設地決定の遅れに伴い、供用開始が遅れ、汚水衛生処理人口が伸びなかったことが要因といえる。

集落排水施設等については、既に単独浄化槽、合併処理浄化槽等によって排水を行っている世帯があり、そこから切替えを行うことに対してかかる接続工事費用が経済的負担になること、また、高齢者世帯も増えており、費用面から接続に踏み切れないことが要因といえる。

コミュニティ・プラントについては、公共下水道の供用開始の遅れのため、公共下水道への統合ができなかったことが要因といえる。

合併処理浄化槽等については、既設のみなし浄化槽世帯が高齢者のみの世帯が多いため、後継者がおらず費用面からもあえて合併処理浄化槽等への切り替えに踏み切れないこと、また、公共下水道計画地域内では下水道の供用開始を待っている世帯もいるため、合併処理浄化槽等へ切り替えないことが要因といえる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和13年度

現在、もとす地域計画の策定予定はないが、西濃環境整備組合の構成市町でもある瑞穂市、本巣市及び北方町の生活排水処理については、西濃地域循環型社会形成推進地域計画（令和7年度から令和12年度）で、住民に対し下水道の必要性や合併浄化槽の補助金制度などについて、更なる周知徹底を図る。

(都道府県知事の所見)

生活排水処理については、公共下水道、集落排水施設等、コミュニティ・プラント、合併処理浄化槽等及び未処理人口が目標未達となった。

目標未達となった要因としては、公共下水道の供用開始の遅れや、下水接続工事や合併処理浄化槽設置工事が高齢者等には経済的負担が大きいため、切り替えを躊躇したことが考えられるが、公共下水道への新規接続推進の啓発や浄化槽補助金の利活用などについて周知を行い、汚水処理人口普及率のより一層の向上を図られたい。